

平成 22 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 COO 森 下 将 典
(コード 3121 大証 2 部)
問合せ先 経営管理部長兼社長室長 庄 佳 秀
(TEL 03-3502-4910)

北京大学及び経済同友会の共同主催によるフォーラム開催に関するお知らせ

平成 22 年 10 月 21 日、中国北京市において、当社関係者の協力により、北京大学 国際関係学院 北京大学東北アジア区域一体化研究センターと経済同友会中国委員会との共同主催により、「世界金融危機後の経済構造の変化及び未来の日中経済関係」をテーマとするフォーラムが開催されましたので、これについて下記の通りお知らせいたします。

当社では、アジア有数のマーチャント・バンクを目指して、日中を含む東アジア経済圏の友好的な発展に貢献する CSR 活動に今後とも積極的に取り組んでまいります。

記

1. フォーラム開催の経緯

当社は、平成 21 年 6 月に当社の日中マーチャント・バンキング事業における社会貢献活動 (CSR 活動) の一環として、北京大学 国際関係学院と学術提携契約を締結し、東アジア地域内の貿易自由化や東アジア通貨の統合の可能性等を研究テーマとしている北京大学東北アジア区域一体化研究センターの活動を支援しております。

今回、こうした取り組みの一環として、同研究センター及び経済同友会中国委員会の共同主催によるフォーラムの開催にあたり、事前の準備や討論への参加など、様々な面でお手伝いをさせていただいたものであります。

2. フォーラムの内容

- (1) テーマ : 「世界金融危機後の経済構造の変化及び未来の日中経済関係」
- (2) 開催日 : 平成 22 年 10 月 21 日
- (3) 開催場所 : 北京市 長富宮飯店 (北京市長陽区建国門大街 26 号)
- (4) 内 容 :

中国からは、中国外交部が主要研究者としている、国際政治研究の第一人者である王緝思氏 (北京大学国際関係学院長、北京大学東北アジア区域一体化研究センター理事長)、張宇燕氏 (中国社会科学院世界政治研究所長) 両名その他、北京大学、清華大学等の中国の著名な研究者の方々に、日本からは中北徹氏 (東洋大学大学院経済学研究科教授、元外務省) ほか各界の専門家に、それぞれご参加をいただきました。

フォーラムは、①金融危機後の日中関係、②日中 FTA、貿易自由化、金融通貨統合、③産業発展及び経済構造調整の 3 つのセッションからなり、各セッションについて各分野の専門家による活発な意見交換が行われました。

中国経済が、名目 GDP において日本を抜き世界第 2 位のポジションになろうとしているなか、外交や商取引の分野における様々な問題に対処するため、日本と中国がどのように経済連携を強化し良好な関係を深化させていくべきかについて議論する貴重な機会になったものと考えております。

以 上